

# 競技注意事項

<新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について>

- ・参加関係者の皆さんは、事前に横浜市陸上競技協会のHPに掲載されている「感染症対策」の内容を必ず確認してください。
- ・競技会当日の提出書類について
  - ①一般・大学生は「体調管理チェックシート」を提出。  
※来場が二日続く場合は、新たに体調管理チェックシートを用意して、一日分だけ記入して提出してください。
  - ②中学生・高校生は顧問が「体調管理チェックシート」を確認・保管し、「参加状況報告書」を提出。
- ・マスク着用の考え方の見直しがありました。感染症対策の基本方針に基づく対策は重要です。引き続き「三つの密」の回避、「人との距離の確保」、「手洗い等の手指消毒」、「換気」等の励行を実施します。
- ・声を出して応援する場合は、できるだけマスクを着用する。

## 1 規則

本大会は2023年(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2 練習

- ・練習は、補助競技場を使用する。  
ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、競技開始40分前から、競技場内で競技役員の指示により行うものとする。また、棒高跳は、競技開始60分前から行うものとする。練習は競技役員の指示に従い、危険防止に努めること。
- ・公園内など競技場外での練習は一切禁止とする。
- ・練習は、競技役員の指示に従い、安全に留意して行うこと。

## 3 競技場

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。  
走路の保全と競技者の安全のために、競技規則TR5を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は3日間ともに7時30分の予定とする。
- ・開門前の応援席確保については、正門のところから各団体2名が競技場フェンスに沿って整列すること。  
他の者については、一般通行人の妨げにならないよう、レストハウス前広場か公園内道路で待機すること。  
補助競技場を利用できる時間は、8時～17時迄である。

## 4 招集

- ・招集所は、100mスタート付近に設ける。 ※但し、棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。
- ・招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場とみなし、出場を認めない。
- ・招集時刻は下記の通りである。
  - トラック種目・・・競技開始50分前から20分前まで(リレー種目は7を参照のこと。)
  - フィールド種目・・・競技開始70分前から40分前まで(棒高跳は90分前から60分前まで)
- ・招集要項
  - ①競技者は出場種目の招集完了時刻までに、招集所にてアスリートビブス確認の為、ユニフォームを着用してチェックを受ける。
  - ②競技者は競技開始10分前に、各競技場所でユニフォームを着用した状態で最終確認を受けること。
  - ③代理人による最終確認は、認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、その旨を本人又は代理人が競技者係に申し出て了解を得ること。

## 5 アスリートビブス

- ・アスリートビブス(横浜市陸協指定)は、2枚をユニフォームの胸と背に結着すること。  
ただし跳躍種目の競技者は1枚を胸又は背に結着するだけでもよい。
- ・本大会申込時にアスリートビブスを購入依頼した者は、本部まで取りに来ること。
- ・トラック種目は、競技者係で腰ナンバー標識を渡されるので、右腰に結着する。競技終了後、各自持ち帰ること。
- ・男子5000m、10000m、5000mW、女子3000m、5000m、5000mWについては、競技者係で特別ナンバーカードを渡されるので、これを胸と背に結着する。その際、正規アスリートビブスを必ず持参して確認を受けること。競技終了後、各自持ち帰ること。

また、男女5000m、10000m、男女5000mWでは、トランスポンダー用のチップ付き腰ナンバー標識を渡されるので、これを左腰に結着する。これは競技終了後、返却すること。

・アスリートビブスを紛失または忘れた者は本部にて、再発行を受けること(2枚300円)。

選手本人作成のアスリートビブスは認めない。

・5000m、10000m、5000mWに出場する競技者は安全ピンを16本用意し、その他の競技者は12本用意すること。

## 6 トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順について

・トラック競技の予選の組・レーン順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。

・トラック競技の準決勝・決勝の組・レーン順は本部で抽選し、密を避けるため、掲示板など複数か所に掲示する。

・タイムレース決勝の種目では、最高記録を参考にして番組編成を行うため、同一組に同じ所属の選手が入る場合がある。

・一般男子5000m、高校男子5000mは段差スタートとする。

## 7 リレー競技について

・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙に記入し、競技開始1時間前までに競技者係に提出する。  
ただし、高校女子4×100mRの予選においては競技開始50分前までの提出とする。

リレーオーダー用紙はプログラムの最終ページに添付してある。不足は、競技者係で受け取ること。

・参加チームは、招集開始時間から完了時間の中に、招集所で4人がユニフォームを着用してチェックを受ける。

・各走者は現地にて競技開始10分前に最終点呼を受ける。

・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、原則として4名とも同色のものとする。

・4×100mRでは、1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。

・招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更(オーダー用紙の差し替え)は認められない。

また、医務員の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。

(競技規則TR24.11)

・腰ナンバー標識は、4×100mRは4走のみ、4×400mRは2走・3走・4走が右腰に結着すること。

## 8 計 時

・すべてのトラック種目について電気計時(1/100)で行う。

・長距離種目では、次に示す制限時間以内に最終周に入っていない者は競技を打ち切る。

一般・高校 男子5000m 21'00" 一般男子 10000m 38'00" 一般女子 5000m 22'00"

一般・高校 男女5000mW 35'00" 一般・高校男子 3000mSC 15'00"

## 9 トラック競技の決勝進出・順位決定

・タイムにより次のラウンドへの進出を決める時、最下位で同タイムの競技者が出た場合は、1/1000秒以上の差があれば優劣を判定する。それでも判定できない場合は抽選とする。

・高校男子5000m及び一般男子5000mはタイムレース決勝で行う。

## 10 スタートについて

・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正出発で失格とする。

・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)が与えられる。

・本大会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格(レッドカード)とする。

ただし、競技会からの除外はしない。

## 11 フィールド競技について

・走幅跳、三段跳においてAピットはトラック側、Bピットはスタンド側とする。

・男子三段跳において、踏切板から砂場までの距離は、一般が12m、高校を11mで行う。

・女子三段跳において、踏切板から砂場までの距離は、9mで行う。

・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。

各種目の点呼時に確認されたい。ただし、棒高跳・走高跳の開始の高さは審判長判断により実施する。

## 12 用 具

・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、砲丸、円盤、やり、ハンマーについて検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものが使用できる。

(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前にて行う。)

- ・競技用シューズの靴底の厚さについては以下を守ること。

種目	ソールの最大厚さ
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を含む)	20mm
トラック競技 (800m以上の種目、障害物競走を含む)	25mm
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm
三段跳	25mm

### 13 表彰

- ・各種目3位まで表彰し賞状を授与する。(中学の種目は対象外です)
- ・高校の学校対抗は、合計得点により男・女それぞれ1位から8位まで表彰する。

### 14 抗議・上訴について

- ・競技規則TR8にもとづき、審判長への抗議は競技者自身もしくは代理人から口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が上訴申立書と預託金10,000円を総務に提出する。正式アナウンス後30分以内とする。
- ・ただし同一日に次のラウンドが行われる種目は15分以内とする。(競技規則TR8)

### 15 欠場

- ・各種目にやむを得ず欠場する者は、招集完了時刻までに競技者係に申し出ること。

### 16 助力

- ・競技場内での助力は禁止とする。
- ・スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。(競技規則TR6)

### 17 その他

- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をするが、保険加入等、各自で事故に対する対策を万全にして競技会に参加すること。また、アイシング用の氷は各競技者、チームで用意すること。
- ・プログラムの訂正がある場合は、本部総務まですみやかに連絡すること。
- ・競技終了後、スタンド等にゴミを残さないよう自席の清掃をすること。  
ゴミについては各自持ち帰りを原則とする。
- ・本競技場メインスタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・トラック競技のスタート時など、競技運営に支障をきたす応援、特に声を出しての応援は禁止する。  
(特にフィールド競技中のグループ応援等)  
また競技場内での付添い及び応援は一切禁止する。
- ・競技場内および練習場内への飲料の持ち込みは水のみとし、その他の飲料は持ち込まないこと。
- ・更衣室、本部裏通路など共有のスペースは占有の使用を認めない。
- ・貴重品は各自で保管し、盗難・紛失には十分注意すること。
- ・記録証は、記録情報処理室にて一部500円で発行します。
- ・競技終了後は、速やかに競技場より退場すること。
- ・参加各校(高校)の顧問は競技役員または補助役員として競技運営にご協力ください。  
競技開始1時間前(8:00)までに学校受け付けおよび役員受け付けを済ませてください。

#### 安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、サブトラックの練習では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。  
(※1, 2, 3レーンは周回練習、5, 6, 7, 8レーンは流し等で使用する予定です。状況によって変更の指示があります。)  
また、本競技場、サブトラック以外でのウォーミングアップ、練習は禁止です。
- ・周囲の安全を確認し、審判員・監督・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。

- ・トラック、フィールド共に横断する際には周囲の安全確認をおこなう。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いをおこなう。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止する。
- ・チューブ、メディンボール等を使用している練習は安全面から行わないこと。

## 横浜市陸上競技協会主催の「2023年度競技会の競技運営について」

2023年4月1日

### 1. 感染症対策について

- ・マスクの着用は任意とします。
- ・消毒液等は設置し、必要に応じて使用可能な体制を整えます。
- ・5月8日前の競技会においては、「体調管理チェックシート」「参加承諾書」の提出は継続します。
- ・リストバンドの使用は廃止します。

### 2. 招集方法について

- ・2020年度以降、競技会での感染症対策として、スタート現地にて招集を行ってきましたが、2023年度の競技会から競技規則通りに第一次招集は競技場の招集所にて実施します。但し、できるだけ混雑をさけるため組毎に招集時間の設定を工夫します。

### 3. 観客の入場について

- ・感染症対策から競技場への入場は、出場者と競技役員等の関係者のみとしていましたが、2023年度の競技会から一般入場者の制限は行いません。

### 4. 基本的な感染症対策について

- ・マスク着用の見直しがありましたが、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針(令和3年11月19日新型コロナウイルス感染症対策本部決定の「基本的対処方針」)に基づく基本的な感染症対策は重要であり、引き続き「三つの密」の回避、「人と人の距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行を実施します。